

令和6年度

益子町子ども議会会議録

益子町・益子町教育委員会

令和6年度益子町子ども議会会議録

－令和6年11月18日（月）14時20分開会

[子ども議会議員]

- ・ 1番 大岩 楓汰 （七井小6年）
- ・ 2番 磯 蒼都 （七井小6年）
- ・ 3番 藤本 一葉 （七井小6年）
- ・ 4番 金子 ゆきら （七井小6年）
- ・ 5番 菊池 映名 （七井小6年）
- ・ 6番 小林 颯士 （七井小6年）
- ・ 7番 高田 絢 （七井小6年）
- ・ 8番 小杉 結望 （七井小6年）
- ・ 9番議長 横山 豪 （七井小6年）

[町執行部]

- | | | | |
|---------------------|---------|------------------|---------|
| ・ <u>町長</u> | 広 田 茂十郎 | ・ <u>福祉子育て課長</u> | 三尾谷 治 |
| ・ <u>副町長</u> | 坂 入 武 司 | ・ <u>生涯学習課長</u> | 福 島 礼 司 |
| ・ <u>教育長</u> | 三 田 進 | ・ <u>高齢者支援課長</u> | 川 又 宏 之 |
| ・ <u>教育次長</u> | 石 塚 誠 | [町議会議員] | |
| ・ <u>総務部長</u> | 和 久 努 | ・ <u>議 長</u> | 小 島 富 子 |
| ・ <u>産業建設部長</u> | 福 田 浩 一 | ・ <u>副 議 長</u> | 大 関 保 |
| ・ <u>生活環境部長</u> | 永 嶋 祐 子 | [事務局] | |
| ・ <u>総務課長</u> | 高 濱 具 己 | ・ <u>事務局長</u> | 保 坂 敦 子 |
| ・ <u>総合政策課長</u> | 上 田 昌 史 | | |
| ・ <u>農政課長</u> | 加 藤 貴 英 | | |
| ・ <u>観光商工課長</u> | 近 藤 修 一 | | |
| ・ <u>会計管理者兼会計課長</u> | 鮎 沢 永 子 | | |

－ 開会 14時20分 －

議長 皆さん、こんにちは。これより、国旗、町旗に対して敬礼を行います。傍聴の方もお願いいたします。礼。おなおりください。開会に先立ち、広田茂十郎町長よりご挨拶をいただきます。

広田町長 七井小学校の皆さん、こんにちは。議員の皆さんには、令和6年度益子町子ども議会にご出席をいただきましてありがとうございます。

本日の質問につきましては、教育長、部長、課長より答弁をいたします。

私からは全ての質問終了後に総括的に話をさせていただきます。

初めての議会で緊張していると思いますが、期待しておりますので、どうぞ頑張ってください。

議長 続きまして、益子町議会議長よりご挨拶をいただきます。

小島議長 七井小学校の皆さん、こんにちは。益子町議会議長の小島富子です。一言ご挨拶申し上げます。

本日、子ども議会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

未来の益子町を担う6年生の皆さんが積極的に意見や提案をし、町の議会や行政に関心を深め、子どもの視点で益子、町政へ提言することなどが目的となっています。今日の日を迎えるために、先生方をはじめ、関係者一同、特に6年生の皆さんたちが4月よりスタートして、長い時間をかけてまとめられた質問だと思います。

いよいよ今日は晴れ舞台。大丈夫です。いつものように大きな声で自信を持って1人1人の思い・夢・考えを町長に質問すれば良いのです。皆さんの声が願いが、直接、町に届き、多くの人たちが幸せになれるように未来を築いてほしいと願っています。

社会に出たら自分で考え、決めなければならないことがたくさんあります。勇気を出して、チャレンジしてみてください。今日の子ども議会をとおし、昨日の自分より、大きく成長できた自分にきっと気付くことでしょう。

結びになりますが、これまでご尽力をいただいた先生方を始め、関係者一同の皆様、心より感謝を申し上げますとともに、七井小6年生の皆さんが健やかに成長されますことをご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

今日は楽しみにしております。

議長 ただ今出席子ども議員数は9名です。本日の子ども議会においては、議場及び傍聴席からの写真・ビデオ撮影等について、これを許可します。なお、議場における撮影等については、益子町役場の職員及び許可された報道各社の記者をもって行います。ただ今から、令和6年度益子町子ども議会を開会いたします。これより、本日の会議を開きます。日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により議長において、3番、藤本一葉議員。5番、菊池映名議員を指名いたします。日程第2、会期の決定を議題といたします。この件につきましては、先の会議において会期日程の決定をしてありますので、子ども議会運営委員会の報告を求めます。子ども議会運営委員長、金子ゆきら議員。

金子議員 はい。議長。

議長 4番、金子ゆきら議員。

金子議員 子ども議会運営委員会の報告をいたします。11月1日、午前11時より議場におきまして、令和6年度益子町子ども議会の日程について審議をいたしましたので、その結果をご報告いたします。会期につきましては、本日11月18日の1日限りといたします。日程につきましては、日程第1、会議録署名議員の指名について及び日程第2、会期の決定についての後、日程第3、

行政に関する一般質問を行い、日程第4、子ども議会宣言についてとします。
なお、日程の繰り上げ、繰り下げにつきましては、議長の裁量によるものと
します。以上、報告を終わります。

議長 子ども議会運営委員会の報告を終わります。確認いたします。ただ今の委員
長報告通り、会期を本日1日限りとすることに、ご異議ありませんか。

議員 異議なし。

議長 異議なしと認めます。よって、会期は本日1日限りとすることに決しました。

議長 日程第3、行政に関する一般質問を行います。1番、大岩楓汰議員の一般質
問を許可します。

大岩議員 はい。1番、大岩楓汰です。

議長 1番、大岩楓汰議員。

大岩議員 益子町には、城内坂などの昔ながらの景観を大切にしたところがあり、落ち
着いて生活できる住みやすい地域だと思います。

さらに、安全に住みやすい場所にするために、歩道の整備や夜間の街灯を増
やす必要があると思います。私たちが登下校する道路も歩道が狭く、見通し
が悪いところが多いです。特に、小中学生の通学路になっている道路も、歩
道が広くなったり、ガードレールなどを設置していただけたらすると、より
安心して通学することができます。また、冬場の夕方や夜間は暗い場所も多
いため、もっと街灯があったほうが良いと思います。町としてのお考えをお
聞かせください。

議長 1番、大岩楓汰議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

福田産業建 はい。議長。

設部長

議長 福田浩一産業建設部長。

福田産業建 議員のご指摘のとおり、歩道や街灯の整備については、町としても重要な課
設部長 題と認識しております。

現在、町としても、地域の安全性を高めるため、順次整備を進めているとこ
ろでございます。町で把握しています街灯（防犯灯）の整備実績を申し上げますと平成24年に1300基だったものが令和5年度までの12年間で5
21基増え1821基になっております。歩道や街灯の整備には、予算の関
係もあり時間を要しております。

そこで、警察や学校などの関係機関との協議の上、優先度の高い箇所を選定
していく方法を検討して参ります。

また、国道や県道の歩道や街灯の整備については、管理者である栃木県に要
望していきます。

今後も、皆さんの意見を踏まえ、より安全で安心なまちづくりを目指してま
いります。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

大岩議員 はい。議長。

議長 1番、大岩楓汰議員。

大岩議員 ご検討いただきありがとうございます。元々街灯が少なく暗い道が多くて、登下校するのが危ない道もありましたが、少しでも増やしてくれていたことが分かりました。

しかし、七井小付近や七井小に通ってる人の家の近くの道など、まだ暗い場所が多いです。そこで、田んぼ付近や、街灯が少ない細い道などにLEDソーラー街灯を設置すると良いと考えました。LEDソーラー電灯には、電気代がかからない、環境に優しい、長寿命、設置が簡単、被災時の安心感などのメリットもあります。都市部では、公共の安全や環境保護にも貢献しているスマート街路灯を取り入れているところもあることを知りました。

今後も安全に生活できるように、ご検討よろしくお願ひします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

高濱総務 課長 はい。議長。

課長 街路灯については、国道や県道など交通量の多い道路の、交通安全対策として設置している道路照明と、住宅地の路地や閑散とした町道や農道に防犯対策として設置している防犯灯があります。

ご質問いただいているのは、主に防犯灯が該当すると思いますが、防犯灯については、学校の周辺や通学路、歩行者などが多い農道などに、ソーラータイプではありませんが、信頼性が高く長期間安定して使用できるLEDのものを設置しています。

なお、LEDソーラー街路灯については、電柱が近くになく電源が取れない場所で有効と考えておりますので、価格と明るさ、器具の信頼性などを確認し、通常の防犯灯で対応できない場所で活用できないか、検討してまいります。

また、スマート街路灯につきましては、都市部であれば照度計だけでなく様々なセンサーと通信機能を搭載し、省エネと渋滞監視、人流の確認などデータ収集や防犯にも役立つものですが、農村部ではその効果を発揮しきれないところがありますので、通信環境が整備されている限定した場所での利用を検討してまいります。

大岩議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 1番、大岩楓汰議員の一般質問を終わります。

2番、磯 蒼都議員の一般質問を許可します。

磯 議員 はい。2番、磯 蒼都です。

議長 2番、磯 蒼都議員。

磯 議員 益子町には緑が多く豊かな自然があり、ひまわり祭りやコスモス祭りなどのイベントも行っています。また道の駅ましこにもたくさんの方が訪れにぎわっています。

しかし、益子町には宿泊施設が少なく、観光客の滞在時間が少なくなってしまうと。県内の様々な施設の例を調べてみると、グランピング施設が大変流行っており、多くの方が自然の中でゆったりと過ごすことを楽

しむ傾向があることが分かりました。

そこで、益子町もこの豊かな自然を生かしグランピング施設を作って宿泊客を増やすとともに、その施設周辺で益子焼や農業の体験をできるようにするなど、益子町の自然を生かした魅力をアピールしてはどうでしょうか。町としてのお考えをお聞かせください。

議長 2番、磯 蒼都議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

福田産業 はい。議長。

建設部長

議長 福田 浩一産業建設部長。

福田産業 磯議員の質問にお答えします。

建設部長 現在、町内には町で把握している宿泊施設がグランピング施設を含め 12 施設あります。利用状況につきましては、令和 5 年の観光客入込数は約 255 万人で、宿泊客数は 35,885 人でしたが、陶器市の期間中とそれ以外の期間ではバラつきがあるようです。年間を通して宿泊客を増やすために、町内の事業者や関係団体と連携・協力して取り組んでいく予定です。

また、ご提案いただいた新たなグランピング施設につきましては、宿泊事業者と調整しながら検討していきたいと考えております。

町内には、現在、陶芸体験やイチゴ、ブルーベリーなどの収穫体験ができる施設があります。町としては、アグリツーリズムを推進したいと考えておりますので、宿泊施設と連携した観光コースをつくり、そこに豊かな自然や町の魅力を盛り込み、観光インスタグラムをはじめとした SNS で発信し、益子町を積極的にアピールしていきたいと考えております。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

磯 議員 はい。議長。

議長 2番、磯 蒼都議員

ご検討ありがとうございます。SNSを通して益子町を積極的にアピールしたいと動かれていることが分かりました。また、益子町の良さを生かしたアグリツーリズムもとても魅力的なことだと思いました。

しかし、私たちが旅行先を考える時に、真っ先に思い浮かぶのは、有名な遊び場があったり素敵な景色があったりする場所が多いです。そこで、子供たちにも魅力を感じる場を設定すれば、より多くの観光客が見込めるのではないかと考えました。そこで益子町の森や山を生かした自然を体感しながら遊べる施設などをつくることで、アグリツーリズムとともにますます益子町をアピールしていけるのではないかと思います。私たちは、益子町は自然も含めとても良い場所だと思っています。多くの方に陶器市以外にも年間を通して、益子町に足を運んでいただけるよう今後も検討をお願いします。

近藤観光商 はい。議長。

工課長

議長 近藤修一観光商工課長。

近藤観光商 磯議員のおっしゃる通り、子供たちが魅力を感じるような場を設定す
工課長 ることで、ファミリー層の観光客が、これまで以上に当町を訪れる機
会が増えるのではないかと考えられます。

町内には、天体観測やトリム歩道を楽しめる益子の森、初めての方で
も登山やハイキングが楽しめる雨巻山、中世の歴史に触れることがで
きる高館山など、自然の豊かさを感じていただけるスポットが多く存
在しております。

さらには、四季折々の里山の風景を楽しんでいただける道の駅ましこ
があり、桜と菜の花や百万本のひまわりを楽しんでいただける花のま
つりも開催しております。

そのような自然環境も生かして、子供たちが楽しいと感じる場やイベ
ントを数多く用意することで町全体の魅力が向上しますので、年間を
通してより多くの観光客の皆さまに来ていただけるような環境づくり
を検討していきたいと考えております。

磯 議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 2番、磯 蒼都議員の一般質問を終わります。

3番、藤本 一葉議員の一般質問を許可します。

藤本議員 はい。3番、藤本 一葉です。

議長 3番、藤本 一葉議員。

藤本議員 先日、オリンピックの卓球選手である石川佳純選手を招いたイベントが開か
れました。益子町は、スポーツ等プロの方を招いて子どもたちに体験する場
をつくったり、チャレンジクラブなどのスポーツをする場もあり、子どもた
ちにとっては良い環境があり、私たちも将来に向けて夢をもつことができる
機会をつくってくださっていることはうれしいことです。スポーツに興味を
もつ子もいます。益子町で行っている「いきいき講座」も大変良い内容です
が、小学生の私たちも一緒に参加できる内容だともっと良いと思います。益
子町にはたくさんの窯元があるので、益子焼を気軽に体験できたり、カフェ
や飲食店も多いので、店主の方から料理を学べる料理教室を開いたりするの
もよいと思います。子どもから高齢者までみんなが一緒に体験できる場があ
ると良いと思います。こうした場があることで、地域の方が集い、将来益子
にずっと住みたくなる人が増えると思います。

町としてのお考えをお聞かせください。

議長 3番、藤本一葉議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

三田教育長 はい。議長。

議長 三田進教育長。

三田教育長 藤本議員の質問にお答えします。

益子町では、町民の皆さまが主催する学習会などのリクエストに応じて、希
望される時間・場所へ講師が出向く「いきいき講座」を実施しています。

その中には、小学生の皆さんも参加できる講座もあり、「本に親しむ講座」

や「コサージュやクリスマスリース作り講座」など、子どもから高齢者まで、すべての世代が対象の講座があります。また今年度より「昔あそびをたのしもう」という講座を開始しました。これは、竹とんぼやコマまわし、けん玉、お手玉などの昔あそびを高齢者の方が教えてくれるもので、学校にも出向きますので、ぜひご活用していただければと思います。

また、益子芳星高校と協力し、ましこ未来大学が実施する「駄菓子屋楽校」というイベントを中央公民館で12月7日に開催いたします。これは、益子芳星高校のお兄さんやお姉さんが公民館の中で、お祭りのようなミニ屋台を出し、手作りゲームで賞品のお菓子をゲットできるというものです。昨年も高齢者から小さなお子さんまで一緒に参加していただき、大いに盛り上がりました。今年は、議員のみなさまにも大人の方と一緒に交流し楽しんでいただきたいと思いますので、お越しいただければ幸いです。

施設としては、ましこココハウスがあります。ここは多世代交流を目的とした施設で、子どもから、高齢者まで利用できる施設となっています。

今回ご提案いただいた「子どもから高齢者までみんなと一緒に体験できる場の提供」につきましては、行政だけでなく自治会や学校などの関係機関とも連携し、ソフト面からハード面まで、より一層充実を図れるよう、努めて参ります。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

藤本議員 はい。議長。

議長 3番、藤本一葉香議員。

藤本議員 ご検討ありがとうございます。駄菓子屋楽校について教えていただきとても良いイベントが開催されていたことに興味をもちました。高校生が主となっていく活動は私達から見てもとても楽しそうだと感じました。しかし、私たちは開催されていたことを知らなかったので、参加できなかったことを残念に思いました。学校でチラシ等が配布され参加したことがあるイベントもあるので、今後も楽しいイベントが企画された場合は町民に周知されるよう工夫をお願いします。

また、新図書館が整備されるのは令和9年度のため、ましこココハウスなどの場所を小中高生が気軽に行けるよう環境を整えていただけるとありがたいです。勉強室の利用を水曜日の夕方だけではなく、毎日利用できるようにしたり、座りやすい椅子やウォーターサーバーなどを置いて居心地のよい空間にしたりするのはどうでしょうか。実際に使いたい人たちからの意見を取り入れていただくと、愛着をもち使用する人も増えるのではないかと考えます。他市町でも複合施設などが建設されているとニュース等で目にすることがあります。既存の施設でも地域住民の交流の場ができるよう今後ご検討よろしくをお願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

三尾谷福祉 はい。議長。

子育て課長

議長 三尾谷治福祉子育て課長。

三尾谷福祉 貴重なご意見ありがとうございます。

子育て課長 ましっこハウスにつきましては、現在、主として、子育て世代の親子の交流の場として利用いただいております。しかし、多世代間の交流は子育てにおいて大切なことですので、ましっこハウスの事業として、子育て世代の親子と幅広い世代の方々が、一緒に活動する夏祭り等のイベントも実施しているところです。

小中高生の利用については、水曜日の夕方のみ実施しているところでございます。

小中高生の毎日の利用を可能にすることや、快適性の向上につきましては、貴重なご意見として、今後の検討課題として考えてまいります。

藤本議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 3番、藤本一葉議員の一般質問を終わります。

議長 4番、金子ゆきら議員の一般質問を許可します。

金子議員 はい。4番、金子ゆきらです。

議長 4番、金子ゆきら議員。

金子議員 益子町には益子焼が有名です。おいしい食べ物もたくさんあり、道の駅の「とろたまプリン」は6年生が給食でいただけるのでとても楽しみにしています。七井地区でもぶどうなどの果樹栽培をおこなっており、ブルーベリーやはちみつなどの特産品もあるので、それらの農産物を使った益子ならではの商品をさらに開発できるとよいと思います。

地元の農産物を使った料理コンテストや、スイーツコンテストなどを行い、それをみんなで試食して投票するような企画もおもしろいのではないのでしょうか。そうしたイベントを陶器市の時に一緒に開催するなど、多くの人に興味をもってもらえる場になれば、益子焼以外にも益子ならではのブランドができるかもしれません。そこでできた物を益子の新しいブランド特産品として、商品化すれば益子焼以外の特産品もさらに生まれると思います。

町としてのお考えをお聞かせください。

議長 4番、金子議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

福田産業建設部長 はい。議長。

議長

福田産業建設部長 福田浩一産業建設部長

福田産業建設部長 金子議員の質問にお答えします。

福田産業建設部長 初めにブルーベリーなどの特産品を使用した益子ならではの商品の再開発についてのご質問でございますが、現在は、各生産者がジャムやジュースなどに加工して販売しております。また、道の駅ましこの加工所では益子の農産物を利用した加工品をたくさん製造しており、その一つが金子議員も楽しみにいただいている「とろたまプリン」です。今後はブルーベリーソース

など、新たな商品の開発をしていきます。

次に料理コンテストなどからできた物を益子の新しいブランド特産品として、商品化すれば益子焼以外の特産品もさらに生まれるのではないかとのご質問でございますが、益子焼以外には藍染、革製品などの手仕事による特産品、新しいものではバナナ、パイナップルなどのフルーツ類の特産品もございます。また益子焼を容器として利用した農産物加工品や益子焼を器としたクッキー商品など益子町には様々な特産品がございます。

さらに特産品を増やしていくためにも、議員が提案されているコンテストの企画は、大変興味深いものなので関係団体と検討してまいります。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

金子議員 はい。議長。

議長 4番、金子ゆきら議員。

金子議員 コンテスト等ご検討ありがとうございます。

農政課の方が教えてくださった特産物については、益子に住んでいる私たちでも知らないものがありました。そこで、益子町で作っている食べ物などを多くの人に知ってもらうために、まずは給食などでブルーベリーやその加工品などを出していただけないかと提案します。

益子の特産品が町内外のより多くの人に知ってもらうために、引き続きご検討お願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

石塚教育 次長 はい。議長。

議長 石塚 誠教育次長。

石塚教育 次長 学校給食は、児童生徒のみなさんの健全な心身の発育に資するよう、安全でバランスのとれたおいしい給食を提供できるよう努めております。給食の食材については、地産地消の観点から、できる限り益子町で生産されたものを使っていますので、益子の特産品であるブルーベリーやその加工品を給食で出したいとは考えています。

しかし、これまでのところ、給食のメニューとして提供できていません。給食は、毎日1,700食以上作っていますので、給食で使用する食材は、決められた日に必要な量を確実に購入できるものである必要があります。また、栄養面についても、決められた基準を満たさなければならないことや、決められた金額以内で作らなければならないなど、様々な制約があり、ブルーベリーやその加工品を給食で提供するのは難しい状況です。今後、条件を満たすことができれば、給食で使用することを検討していきたいと思っております。

益子の特産品を町内外のより多くの人に知ってもらうために、町のホームページやInstagram、X（エックス）なども活用し、情報発信に努めてまいりますので、ご理解くださるようお願いいたします。

金子議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 4番、金子ゆきら議員の一般質問を終わります。

議長 5番、菊池映名議員の一般質問を許可します。

菊池議員 はい。5番、菊池映名です。

議長 5番、菊池映名議員。

菊池議員 七井小学校では、おじいちゃんおばあちゃんと一緒にふれあい除草を行ったり、低学年では昔遊びを行ったりして交流をしています。祖父母の皆さんは、経験が豊富で、いろいろなことを教えていただくことができる貴重な場です。少子高齢化社会が進み、益子町でもこの問題は年々深刻になると思います。こうした中で、子どもから高齢者まで、誰もがいきいきと生活できる暮らしの充実が必要であると考えます。調べ学習をしたところ、群馬県では親子で農業体験できる場があることが分かりました。益子町でも、学校以外で高齢者から学べる農業体験や昔遊び体験などができる場があると、高齢者の生きがいにもつながると思います。また、災害時の高齢者への避難支援など、助け合い・支えあえる地域づくりができると、誰もがいきいきと生活できるのではないのでしょうか。町としてのお考えをお聞かせください。

議長 5番、菊池映名議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

永嶋生活環境部長 はい。議長。

議長 永嶋祐子生活環境部長。

永嶋生活環境部長 菊池議員の質問にお答えします。まず、高齢者の生きがいづくりの場についてですが、高齢者の皆さんがその豊かな経験を活かし、地域社会に貢献する機会を提供することは、たいへん意義のあることです。益子町では、高齢者の生きがいづくりのため、自治会を単位として住民が主体となって運営する「いきいきクラブ」や、ボランティアと参加者で活動する「ふれあいサロン」をはじめ、体や心の健康を向上させるための「介護予防教室」を実施するなど、ご高齢の皆さまに楽しみながら健康な日々を過ごしていただけるよう、様々な事業に取り組んでおります。議員ご提案の高齢者との交流の場づくりは、子どもから高齢者までが共に活動することによって、いきいきと生活できる暮らしづくりにさらに役立つものと考えておりますので、今後、学校以外での高齢者と交流する場として、「ふれあいサロン」などを活用した農業体験や昔あそび体験などができないか、検討して参りたいと思います。

次に、助け合い・支えあえる地域づくりについてですが、地域全体が協力し合い共に支えあうことは、安全安心な生活環境づくりに大いに役立つことであると考えております。

益子町では、先に述べた活動や、地域の課題を話し合う場を設置することによって、「顔の見える関係性」をつくり、災害時などにおける避難支援はもちろんのこと、平時からの交流・声掛け活動などを推進し、助け合い・支え

あえる地域づくりに努めて参ります。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

菊池議員 はい。議長。

議長 5番、菊池映名議員。

菊池議員 ご検討ありがとうございます。地域全体が協力しあいともに支えていくことがとても大切なのだと分かりました。これからもたくさんの交流のイベントが増え、益子町に住んでる住民だれもがいきいきと生活できることを楽しみにしています。

今回益子町についていろいろ調べてみると、いきいきクラブの方々が小宅古墳群の整備されてると知りました。以前、校外学習で小宅古墳群にいき、たくさんの古墳の歴史について教わりました。こんなに素晴らしいものを維持されていることを知り、益子町の歴史を語り継ぐ活動をもっと増やしていく必要があると考えます。現在もたくさんのイベントが益子町では行われていますが、もっとSNSを活用して周知するなど、町民全体が参加できるようにしていくといきいきと生活できるのではないのでしょうか。町民の交流によって、万が一の防災対策にもつながると思います。今後も町民が益子町に住んで良かったと思えるような町づくりをお願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

高濱総務 課長 はい。議長。

議長

高濱 具己総務課長。

高濱総務 課長 町のイベントについては、ホームページやインスタグラム、フェイスブック、X（エックス）などで発信しておりますが、内容は町外の方に益子町の魅力を知ってもらうための情報発信が中心になっています。

小宅古墳群の菜の花・桜まつりのような地元が盛り上げているイベントに、SNSを活用することで中学生や高校生など若い世代の方に興味を持っていただき積極的に参加していただければ、今お祭りを行っている地域の方と世代を跨いだ交流になります。そして、お互いが顔見知りになれば、高齢者の安否確認や孤立防止などについて、万が一災害が発生したとしても、大きな助けになることが期待できます。

町としても、地域の活動を通して世代間での交流の機会が増え、地域の文化やコミュニティが継承され、子どもたちにとって益子で生まれ育ったことに誇りを持てるような町づくりを進めてまいります。

菊池議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 5番、菊池映名議員の一般質問を終わります。

議長 6番、小林颯士議員の一般質問を許可します。

小林議員 はい。6番、小林颯士です。

議長 6番、小林颯士議員。

小林議員 益子町には、南運動公園や北運動公園、総合体育館など運動ができる施設が

あります。施設がネット予約になり、便利になりました。ましこ未来計画の施策の1つに、「ライフステージに応じた健康づくりの推進」があります。そのためには、年代を問わず気軽に運動を続けていくことが大切だと思います。そこで、世間遺産を巡るウォーキングコースや四季の季節の移り変わりを感じられるランニングコースを作ったり、考えたりしてはどうでしょうか。楽しみながら運動ができ、継続することで生活習慣病の予防にもつながると思います。町としてのお考えをお聞かせください。

議長 6番、小林颯士議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

三田 進 はい。議長。

教育長

議長 三田進教育長。

三田 進 小林議員の質問にお答えします。

教育長 ライフステージに応じた健康づくりの推進についてですが、議員ご指摘のとおり、ウォーキングやランニングは、年代にとらわれない健康づくりの手段として非常に有効であると考えております。町が設置している南運動公園や北公園においても、コースは特に定めておりませんが、公園周辺でウォーキングやランニングを独自で楽しむ町民も増えています。

そのような中で、ご提案いただいたコース設定に類するものとして、栃木県が提案している「とちぎ健康づくりロード」がございます。この中には「安善寺・芳賀富士コース7.9km、約2時間」、「焼き物としいの木のみちコース11.8km、約3時間」、「生田目林道一周コース7.9km、約2時間」「百目鬼川源流のあかぼっけと西明寺を訪れるコース2.7km、約41分」が既に紹介されています。これらのコースは、ましこ世間遺産や季節の移り変わりを楽しめるように設定されていますが、設定されているコースの長さには程良い距離のコースが少ないと感じています。今後は、栃木県のコースも参考にしつつ、益子町独自で世間遺産や季節の移り変わりが感じる、気軽に運動が続けられるような、程良い距離のコース設定について検討をしていきたいと思っております。ウォーキングやランニングによる町民のみなさんの健康づくりが進むことで、病気や介護の予防につなげ、益子町全体の活性化につながることを期待するものであります。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

小林議員 はい。議長。

議長 6番、小林颯士議員。

小林議員 ご検討ありがとうございます。年代を問わず、楽しめる施設や名所があることが分かりました。そこで、それらの場所を活用しながらポイント制のウォーキングアプリを追加してみてもどうでしょうか。

例えば1日5000歩でMASIPOに50ポイントが溜まり、そのポイントを町内のお店で使用することができるということはどうでしょうか。それなら年齢問わず楽しくウォーキングをすることができると思います。他にも健康のために

できることをアプリの中で紹介し、実施できたらチェックをできるようにするなどすれば、意識的に楽しく健康づくりをすることができると思います。ご検討よろしく申し上げます。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

三尾谷福祉 はい。議長。

子育て課長

議長 三尾谷治福祉子育て課長。

三尾谷福祉 貴重なご意見ありがとうございます。

子育て課長 町では、健康づくりの推進として、ウォーキング等健康づくり推進事業に参加した際にポイント付与し、地域通貨に還元する健康ポイント事業を実施しておりましたが、事業内容の見直しのため休止しております。現在は、代替的に栃木県で実施している「とちまる健康アプリ」の活用を紹介しており、こちらの事業は、ウォーキングの歩数に応じてポイントを貯めて栃木県産の和牛やフルーツなどが当たる抽選に応募できる仕組みでございます。健康を継続することは、生活習慣病の予防にもつながります。意識的に楽しく健康づくりを実施していくためには、アプリの活用も有効であると思われまますので、事業内容の見直しにおいて、アプリ導入につきましても今後検討して参ります。

小林議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 6番、小林颯士議員の一般質問を終わります。

議長 7番、高田 絢議員の一般質問を許可します。

高田議員 はい。7番、高田 絢です。

議長 7番、高田 絢議員。

高田議員 益子町では、「ますます しあわせ 子育てガイドブック」を発行し、赤ちゃんが生まれる前から子育てに関してさまざまな支援をしています。そこで、電子母子手帳を導入し、妊婦検診の記録管理や乳幼児健診の記録管理など成長記録をデータ化してはどうでしょうか。データ化することで、管理しやすくなったり、見やすくなったりすると思います。また、検診などのオンライン予約・受付や地域の情報発信もデジタル化することで、Dxの推進も図られると思います。町としてのお考えをお聞かせください。

議長 7番、高田 絢議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

永嶋生活 はい。議長。

環境部長

議長 永嶋祐子生活環境部長。

永嶋生活 高田議員のご質問にお答えします。子育てに関するDXの推進については、貴重なご意見ありがとうございます。

環境部長 電子版母子健康手帳の導入についてですが、妊婦健診や乳幼児健診の記録や管理において効果があり、成長記録のデータ化によって、これまで紙ベースで行っていた管理の効率化などが期待されます。また、国の子ども家庭庁に

において、母子保健 DX の推進に向けた取り組み方針に電子版母子健康手帳を掲げており、令和 7 年度には、導入に向けたガイドライン等が出される予定です。一方で、導入にあたってはシステム構築やデータセキュリティ、個人情報管理といった点について、十分な対策を講じる必要があります。町としましては、国が出すガイドラインの内容を踏まえ、導入について検討してまいります。

また、検診などのオンライン予約・受付や地域の情報発信のデジタル化についてですが、現在、主に集団健診やがん検診等の予約は電話などで行い、紙の間診票で受付を行っています。

検診などのオンライン予約・受付システムの導入については、令和 5 年度まで実施しておりました新型コロナワクチンの接種予約の際に、町内の接種医療機関及び芳賀赤十字病院に限りますが、24 時間対応の WEB 予約システムを導入しており、多くの方にご利用いただいたところでございます。

このようなシステムの導入は、町民の皆様にとって利便性が高く、特に多忙な方や移動が困難な方にとって、予約がより簡単に行えるというメリットがあります。また、町としても、予約状況の管理が効率化され、検診等のスケジュール調整や事前準備が円滑に行えるようになります。

さらに、地域の情報発信をデジタル化することで、広報誌などの印刷物に加え、タイムリーな情報提供や双方向のコミュニケーションが可能となります。このため、町としても公式ラインなど活用して情報発信を行っているところです。

一方で、すべての町民がデジタルツールに精通しているわけではないという課題もあります。そのため、デジタル化を進めると同時に、利用が難しい方へのサポートや、既存の手段との併用も検討する必要があります。

町としては、町民の皆様の利便性向上と行政サービスの効率化を図るため、オンライン予約・受付システムの導入や地域の情報発信のデジタル化について、さまざまな機関と連携しながら、その実現に向けて取り組んでまいります。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

高田議員 はい。議長。

議長 7 番、高田 絢議員。

高田議員 ご検討ありがとうございます。国において母子保健 DX の推進に向けた取り組みをしていることと、令和 7 年度には、導入に向けたガイドライン等が出されることが分かりました。

実際に、私たちが調べてみると新潟県新潟市でデジタル化基本方針の取り組みを行っていたり、母子手帳アプリも茨城、宮城で行なっていたりするそうです。システムの構築やセキュリティーの問題など一つ一つ対策も必要だと思いますが、導入することで若い世代のお母さん方もより使いやすくなると思います。母子手帳をアプリにすることで予防接種の実施や乳幼児の成長の

様子が町と家庭と双方向で確認できるようになったり、子育てに不安な方たちが安心できるような情報を発信していただいたりすればよりよい活用ができると思います。今後もご検討よろしくをお願いします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

三尾谷福祉 はい。議長。

子育て課長

議長 三尾谷治福祉子育て課長。

三尾谷福祉 貴重なご意見ありがとうございます。

子育て課長 母子手帳のアプリ導入につきましては、将来的に、国が構築しているシステムと連携することで、予防接種の記録や乳幼児の成長の記録等、町と家庭とが双方向で確認できるようになるとのことです。子育ての不安を少しでもなくするよう他市町の情報の把握や国の動向も踏まえ、取り組みを進めてまいります。

高田議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 7番、高田 絢の一般質問を終わります。

議長 8番、小杉結望議員の一般質問を許可します。

小杉議員 はい。8番、小杉結望です。

議長 8番、小杉結望議員。

小杉議員 益子町では、令和5年4月からこども医療費の助成範囲が18歳3月末までに拡大になりました。また、子育て応援手当として、地域通貨を支給しています。子育て世代にとっては、とてもありがたいことだと思います。有識者グループ「人口戦略会議」は、2050年までの30年間で若年女性の人口が半数以下になり、最終的に消滅する可能性がある「消滅可能性自治体」の1つとして益子町も指摘されました。年々、深刻さを増す「少子化」は、益子町においても深刻な問題だと思います。他市町では、学校の統廃合が進んでいると聞きます。老朽化が進んでいる学校もあるので、私たちの住む益子町では、将来学校の統廃合などを進める計画はあるのでしょうか。町としてのお考えをお聞かせください。

議長 8番、小杉結望議員の質問に対し執行部の答弁を求めます。

三田教育長 はい。議長。

議長 三田進教育長。

三田教育長 小杉議員のご質問にお答えします。まず、益子町が「消滅可能性自治体」の一つとして指摘されました。これは、今後30年間で20代から30代の女性が半数以下になるという予想が根拠となっていますが、「結婚した女性が産む子供人数」などが考慮されておりません。益子町では、「結婚した女性が産む子供人数」が東京などと比べて多いことや、子育て支援、移住・定住の促進など様々な対策を講じており、将来の消滅可能性はないと考えておりますので、ご安心ください。

さて、ご質問のありました学校の統廃合についてですが、他市町では、複式

学級となっているクラスがあり、児童数が100人に満たない小さな学校があるところで統廃合が進んでいるようです。

一方、益子町では、当面の間、七井小学校をはじめ、田野小学校、益子小学校、益子西小学校とも、複式学級となる見込みはないことから、中学校を含め統廃合の計画は今のところありません。

ただし、学校の規模が大きくなれば、より多くの友達をつくることのできることや、より多くの学習活動やクラブ活動を学校ですることができるようになるなど、様々なメリットがあることも事実です。今後、益子町では、どれくらいの規模の学校が児童生徒のみなさんのために一番良いのか、議論をはじめていきたいと考えています。

議長 執行部の答弁が終わりました。再質問があればこれを許します。

小杉議員 はい。議長。

議長 8番、小杉結望議員。

小杉議員 ご検討ありがとうございます。消滅可能性自治体であるとニュースで聞いたときは驚きましたが、ふる里である益子町が消滅しないと聞いて安心しました。そして学校の統廃合も計画していないということが分かりました。

しかし、2023年の出生数は78人で少子化が進んでいる状況です。今後も子供の人数が少なくなることが予想されます。現在の学校の数を維持するためには少子化対策にも力を入れていくとともに老朽化した学校をどのように維持していくかを考える必要があるなど感じました。

また、以前益子町で統廃合をした際に廃校になった3校のうち私たちの地元にある小宅小だけがまだ活用されないままになっていることを知りました。地域活性化のためにも何か活用できないのかご検討よろしくお願ひします。

議長 再質問に対し執行部の答弁を求めます。

上田総合 はい。議長。

政策課長 小宅小学校の活用に関するご質問ですが、町としましても、以前から施設の活用について検討しており、2021年には土祭の会場として使用いたしました。また、他の廃校となった小学校と同様に、借りたいという事業者の方にお貸しするのも活用方法の一つだと考えております。これは、町の収入にもなるため進めていきたいところですが、希望されている方がいないのが現状です。また、建物自体の老朽化が進んでおり、修繕が必要となる可能性があるため、施設の活用に関しては費用対効果も含めた検討を考えております。

小杉議員 ありがとうございます。以上で一般質問を終わらせていただきます。

議長 8番、小杉結望議員の一般質問を終わります。

議長 広田茂十郎町長より総括的答弁をいただきます。

広田町長 はい。議長。

議長 町長。

広田町長 子ども議会の議員の皆さん、長時間にわたり大変お疲れさまでした。私から全体を通じて感じたことをお話しさせていただきます。

議場という独特な雰囲気を出す場で、子ども議員の皆さんが地域の課題をしっかりと見つめ、堂々と質問されている姿は、大変立派であり、感心をいたしました。

皆さんには、今日のこの日のために、多くの時間を使って準備いただいたことと思います。日頃から感じていることや疑問に思っていることなどを、友達や家族、先生たちと話し合い、様々なことを調べたり考えたりしてくださったことでしょう。そんな議員の皆さんに、心から敬意を表したいと思います。

さて、各議員の一般質問を通じて感じたことを、若干お話しさせていただきます。

まず、大岩議員より質問いただいた「歩道や街灯の整備について」ですが、ご自身の実体験に基づいた具体的なご意見で、説得力のあるものだったと感じます。また、環境への配慮もされており、これからの時代に必要な考え方をされていると感じました。

次に、磯議員の「観光地としての益子町」ですが、世の中のニーズと町内の観光資源の両面から考えられているだけでなく、そこに自身の考え、感覚も取り入れて提案なさっており、感心いたしました。ちなみにですね、益子町は今、情報発信の話が皆さんから出ましたが、インスタグラムのフォロワー数が全国4位という事になっています。そういうことで、今一生懸命、益子町を全国に発信しているところでもあります。

藤本議員の「地域住民の交流の場について」では、同世代だけでなく、年齢を越えた交流が、地元への愛着・定住を促すという着眼点に感銘を受けました。また、勉強室の利用を増やすご提案をお聞きし、益子町の未来を担う皆さんを頼もしく感じました。

続いて、金子議員の「益子ならではの農業ブランド」ですが、商品開発をコンテスト形式で行い、皆で投票するというアイデアは、町の活性化のために、住民皆が知恵を持ち寄り、参画していくということに繋がる素晴らしいものだと思います。また、給食等で町民である児童の皆さん達に知ってもらおうというご提案は、情報発信者を増やすという意味でもとても良い考えだと思います。

続いて菊池議員の「誰もがいきいきと生活できる暮らしの充実」では、高齢者の持つ知識・経験に興味関心を持っていただけることが嬉しく思いますし、

また、災害時における高齢者への支援にまで配慮されており、思いやりのあるご提案だと感じております。

小林議員の「健康・長寿のまちづくりの推進」では、楽しみを取り入れた健康づくりのご提案をいただきました。明るく前向きな視点で課題解決を考える姿勢が大変すばらしいと感じました。また、ポイント制アプリのご提案は、現代に生きる若者らしい発想であり、そうした考え方が今後益々必要とされる時代になっていると感じました。

高田議員の「子育てに関する DX の推進」では、他の自治体や国の政策や方針にまで調査が及んでおり、町における状況に照らして考察されているだけでなく、子育て世代の立場に立って考える思いやりも持っており、感心いたしました。町でも DX を重要な施策と考えておりますので、今後も DX により業務効率化などに取り組んでいく所存であります。

小杉議員の「少子化に伴う学校の統廃合について」は、将来、つまり、今この子ども議会に参加していただいている児童さん達が卒業した後の事について、益子町の将来母校の行く末を心配する、母校愛・郷土愛ともいえる気持ちを持って下さっていることを大変嬉しく思いました。また、既存の施設の有効活用など、限りある財源の中での重要な考え方をされていると感じました。

そして、横山議長ですが、しっかりとした議事の進行を行っていただきました。私も、町長になる前には、益子町議会議員を 15 年、議長も経験したことがございますが、横山議長は、とても堂々と立派に議長の責務を果たして下さったと思います。

最後に、議員として参加いただいた方だけでなく、傍聴いただいた七井小学校 6 年生の皆さん、そして、ここまで指導をいただきました先生方にも、感謝を申し上げ、私の総括とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

議長 行政に関する一般質問を終わります。

議長 日程第 4、子ども議会宣言についての件を議題といたします。この件につきましては、子ども議会議員全員から、子ども議会宣言の申し出がありました。子ども議会議員においては「このまちに生まれ、育ったことが私たちの誇りです」と、声を大にして言えるまちづくりを目指し、次のことを宣言します。一．私たちは、まちのため、地域のため、家族のためにできることを日々実践していきます。二．私たちは、このまちを思い愛する心、思いやりの心の輪を広げていきます。三．私たちは、まちの将来を考え、最大の関心をもって生活していきます。

確認いたします。本件につきましては、申し出の通り、子ども議会宣言をす

ることに、ご異議ありませんか。

議員
議長
議長

異議なし

異議なしを認めます。よって、子ども議会宣言とすることに決しました。

これをもって、令和6年度益子町子ども議会を閉会するところですが、この場をお借りし、子ども議会を代表してお礼と感謝の言葉を申し述べさせていただきます。このたび、私たちは「子ども議会議員として行政に参画し、政策提言をする」という、貴重な経験をさせていただくことができました。本物の議場で、仲間と共有した緊張感は、私たちを一回りも二回りも成長させてくれたような気がしています。また、私たちの知らないところで、実に多くの人たちがこのまちを支えてくださっていることも実感することができました。子ども議会への参画を機に、私たちの「まちへの思い、このまちに暮らす人への思い」は、より大きく強く、そして優しくなれました。このような素晴らしい体験をさせていただきましたこと、そして私たちをご指導くださいましたすべての皆様に心から感謝申し上げ、令和6年度益子町子ども議会を閉会いたします。

これより、国旗、町旗に対して敬礼を行います。傍聴の方もお願いいたします。礼。おなおりください。

－ 閉会 15時35分 －

[署名]

令和 年 月 日

議長

署名議員

署名議員
